

# キャリアセミナー2024日程案

豊富な経験を有する講師とともに、働くとは何か、そして仕事と地域や世界とのつながりについて考えます。  
テーマ別の分科会ごとに、ワークショップやディスカッションを取り入れた、メディア講義形式の集中授業です。

## <国際キャリア教育、International Career Seminar共通>

### ■事前指導（オンライン、参加必須）

国際キャリア教育：2024年7月24日（水）18:00～19:30

International Career Seminar：2024年7月25日（木）18:00～19:30

1日目

9:30～17:50

午前
開講式／オリエンテーション
全体講義／グループディスカッション
--- 昼食休憩 ---
午後
パネルトーク
趣旨説明／発表プレゼン方法説明
分科会Ⅰ（分科会講師による講義等）

2日目

8:30～18:30

午前
分科会Ⅱ （グループディスカッション、発表準備等）
--- 昼食休憩 ---
午後
分科会Ⅲ
中間発表
発表準備

3日目

8:30～14:40

午前
発表準備
全体発表
--- 昼食休憩 ---
午後
ふりかえり／意見交換／全体総括等
閉講式

日程は変更になる場合がありますのであらかじめご了承ください。

### 申し込み方法

申込方法：1.申込フォームから（<https://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/registration/>）  
2.高校生で参加希望の方は、メールにて事務局（[kokuca@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp](mailto:kokuca@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp)）までご相談ください。

申込開始：2024年6月3日（月）正午 申込締切：2024年6月27日（木）（定員になり次第締め切ります。）

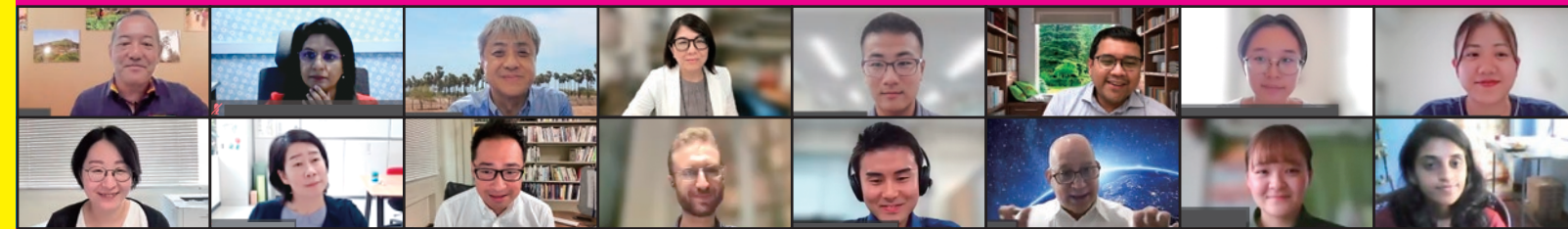
分科会：原則先着順としますが、人数に偏りがある場合は調整させていただきます。

### 問い合わせ先

宇都宮大学 国際学部 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350 TEL.028 (649) 5172/FAX.028 (649) 5171  
E-mail [kokuca@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp](mailto:kokuca@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp)



とちぎグローバル人材育成プログラム 大学コンソーシアムとちぎ共通科目



グローバル時代のキャリア形成を考える

# 国際キャリア教育プログラム

参加者募集

## 2024 国際キャリア教育セミナー開講!!

### 国際キャリア教育

セミナー：

2024年

9月14日(土)～16日(月祝)

事前指導(オンライン)：

2024年

7月24日(水) 18:00～19:30

定員：50名(先着順)

### International Career Seminar

セミナー：

2024年

9月21日(土)・28日(土)・29日(日)

事前指導(オンライン)：

2024年

7月25日(木) 18:00～19:30

定員：50名(先着順)

### 共通事項

参加費：無料 ※ネットワーク通信料は自己負担となります。

会場：全日程、Zoom等によるメディア授業で実施。  
ご自宅からご参加いただけます。

備考：各自、メディア媒体の準備（PCからの参加を推奨します）、  
および、安定したインターネット環境の確保をお願いします。  
7月に、事前指導（オンライン、参加必須）を行います。

詳細はホームページでご確認ください!!

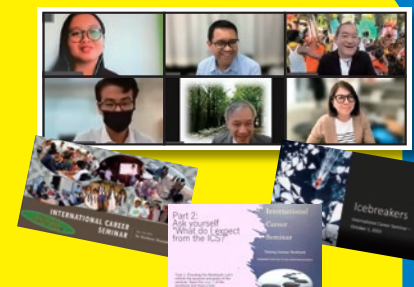


国際キャリア教育プログラム

検索

<https://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/>

※「国際キャリア教育」及び「International Career Seminar」は、栃木県からの支援を受けて大学コンソーシアムとちぎが開講する「とちぎグローバル人材育成プログラム」の大学コンソーシアムとちぎ共通科目として、大学コンソーシアムとちぎ、宇都宮大学が実施するものです。



主催：大学コンソーシアムとちぎ、宇都宮大学

後援：（公社）栃木県経済同友会、  
（公財）栃木県国際交流協会、  
NPO法人宇都宮市国際交流協会、  
JICA筑波センター

協賛：（公財）あしぎん国際交流財団

特別協力：宇都宮市創造都市研究センター





## 国際キャリア教育 グローバル時代のキャリア形成を考える

### 全体講義

### 混迷の時代の国際キャリアを考える ー真のグローバル人材に必要な条件ー

講師：重田 康博（しげた やすひろ）

宇都宮大学国際学部元教授、国際キャリア教育セミナー担当講師



#### 全体講義内容：

今世界は混迷の時代と言われています。その混迷の時代を生きるための真のグローバル人材とは何か、その必要な条件を具体的な事例を示しながら紹介し、国際キャリア形成について考えます。

#### プロフィール：

北九州市立大学大学院社会システム研究科博士後期課程修了（博士・学術）。国際協力推進協会（APIC）主任研究員、クリスチャン・エイド客員研究員（イギリス・ロンドン）、NGO活動推進センター（現、国際協力NGOセンター、JANIC）主幹等を経て元宇都宮大学国際学部教授（2007-2022）、専門は国際開発研究、国際NGO研究。JANIC/THINK Lobby政策アドバイザー、アジア・アフリカ研究所理事、宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センターセンター研究員。著書に『NGOの発展の軌跡』（明石書店 2005）、『国際NGOが世界を変える』（共著、東信堂 2006）、『開発教育ー持続可能な世界のために』（共著、学文社 2008）、『激動するグローバル市民社会ー慈善から公正への発展と展開』（明石書店 2017）、『グローバル時代の「開発」を考えるー世界と関わり、共に生きるための7つのヒント』（共著、2017 明石書店）、『SDGs時代のグローバル開発協力論』（編著、明石書店 2019）、『日本の国際協力 アジア編ー経済成長から「持続可能な社会」の実現へ』（編著、ミネルヴァ書房 2021）、他。

### 分科会

分科会講師は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

#### 国際ビジネス

### A. 「グローバル×働く」を考える



講師：渡邊 千晃（わたなべ ちあき）

レオン自動車株式会社 アジア営業部 係長

#### 分科会内容：

「世界を舞台に働く」。一見華やかですが、実際には複雑な問題を解決しながらビジネス上の目的を達成する必要があります。プレーヤーの視点からグローバルに働くために必要なことを一緒に考えていきましょう。

#### プロフィール：

大学を卒業後、レオン自動機に入社。文系ながらも技術サービス部に所属し、機械や食に関する知識を深める。入社5年目でRheon USA・NJ事務所へ赴任。現地では機械の納入やR＆Dサポートの他、SNSの運営に携わる。帰国後、営業部に異動し、現在はオーストラリア、ニュージーランド、台湾を担当。

#### 国際協力・国際貢献

### B. ライフステージを見据えた国際協力



講師：カバリエロ 優子（かばりえろ ゆうこ）

宇都宮大学共同教育学部 助教

#### 分科会内容：

国際協力の仕事とプライベートは、両立が難しいイメージがあります。本分科会では、自分の強みや個性を生かしつつ、個人のライフスタイル、ライフステージを考慮した国際協力を一緒に考えていきたいと思います。

#### プロフィール：

学部卒業後パラグアイ共和国で青年海外協力隊家政隊員、日本で家庭科非常勤講師、牧場勤務等を経て、大学院に進学。お茶の水女子大学大学院（食品栄養科学）、リーディング大学院グローバル理工学副専攻修了（博士・学術）。研究テーマはルワンダ共和国、パラグアイ共和国の栄養課題、身体活動に伴うエネルギー代謝、緑茶。

#### 国際協力・国際貢献

### C. 問題意識を醸成し、キャリアに生かす



講師：小林 麗子（こばやし れいこ）

特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター

海外事業グループ

#### 分科会内容：

自分の中の問題意識をどのようにキャリアに結び付けられるのか。自身の経験や関わってきた海外事業を紹介しながら、国際協力の分野で働くために必要なことや、自分が求めるキャリアプランについて、一緒に考えていきましょう。

#### プロフィール：

埼玉県出身。大学卒業後、一般企業に就職。イギリスの大学院修士課程でマイノリティや人種問題等について学んだ後、緊急支援NGO、国際協力関連の調達機関等を経て、2015年より現職。スーダン、南スーダン、パレスチナ、イエメン事業に携わる。小学生1児の母。

#### 多文化共生と日本

### D. 「友だち」と呼ばれる人は、 どんなやり取りをする人？



講師：リーベレス・ファビオ（りーべれす ふぁびお）

宇都宮大学国際学部 助教

#### 分科会内容：

「友だち」は、映画、楽曲や漫画などで、尊く清らかなものとして理想的に描かれているものが多いです。私たちが生きる社会では、友だちを持つことやそのつながりや形に大きな意味を与えています。しかし、友だちというのは身近な関係でありながらも、可変的で不安定で不明確な関係です。そもそも「友だち」と呼ばれる人との関係、つまり友人関係とは何だろう？異なる社会の文化を例にみながら、友だちって何？を人類学的に考えましょう。

#### プロフィール：

2019年東北大学大学院文学研究科にて博士（文学）を取得。専門は文化人類学。特に移動する人や、ストレンジャー論や友人関係に取り組んでいます。幼少期から様々な国々を転々としながら育ち、将来はインディアナ・ジョーンズのように世界中の秘宝を奪ったり墓荒らししたりする学者になるうかと思っていました。2022年より現職。

#### 異文化理解コミュニケーション

### E. 防災目線で多文化コミュニティを考える



講師：飯塚 明子（いいづか あきこ）

宇都宮大学留学生・国際交流センター 准教授

#### 分科会内容：

国内外で発生している災害は誰にでも共通する身近な課題です。この分科会では、講師の防災と国際協力に関する経験を踏まえた上で、日本国内で災害が発生した時の多文化コミュニティの課題やあり方を議論し、災害の被害を少なくするためにどのような関わり方が求められるのか考えていきたいと思います。

#### プロフィール：

京都大学大学院地球環境学舎にて博士（地球環境学）を取得。米国とオランダの学位留学やベトナム、スリランカ、インドの海外駐在経験を経て、8年前から現職。専門は防災と国際協力で、国内の外国人の地域防災に関する研究と実践にも取り組んでいる。2児の母で、毎日の日課はヨガとスムージー作り。

#### 異文化理解コミュニケーション

### F. 異なった文化に対応する力の涵養



講師：浅水 伸介（あさみず しんすけ）

カンボジア・ベトナム屋 代表

#### 分科会内容：

自分の常識とは異なる文化に接したとき、面白く感じたり不安に感じたりします。感情に流されてしまうのではなく、「なぜ違うのか」を冷静に考察していくことが大切です。実体験等を交えて一緒に議論していきましょう。

#### プロフィール：

茨城大学大学院修了（理工学）後、メーカーで研究員。平成21年、JICA青年海外協力隊（カンボジア・理数科教師）。協力隊参加後、同国にてJICAプロジェクトに従事（理数科教育及び農協振興）。ベトナムの日越大学設立プロジェクトに従事し帰国。現在は、クメール語の通訳・翻訳、学校での国際協力講座等を行う事業を展開。

## International Career Seminar Globalization and Glocalization

### 全体講義

### International Careers Re-visited and Re-examined for Generation Z

講師：Shunsuke KURIHARA, Ph.D. 栗原 俊輔

宇都宮大学 国際学部 准教授、国際キャリア教育運営委員会 副委員長



#### 全体講義内容：

What is International Career for you? This three-day seminar is for all of us to learn from the Generation Z, our students! and try to find the common arena for all of us to work together in the international field. In this session, the participant students will be engaged and committed to show and expand their eager-to-learn attitude, while the lecturers will support the process with their expertise. Prior to the workgroup sessions, the students will be able to obtain and practice the practical ways of communication and learning style at the multi-cultural environment.

#### プロフィール：

Kurihara Shunsuke earned a Master's degree in International and Intercultural Management from the School for International Training, USA, and a PhD in International Development from Yokohama National University. His professional career in the international development field includes; Regional Planning & Program Development Advisor (2012-2014) and Rehabilitation & Development Advisor (2009-2011) in Sri Lanka, under the JICA Expert Scheme, and Project Director (2003-2008), Program Officer (2001-2008) in Sri Lanka and Project Coordinator (2000-2001) in East Timor, CARE International.

### 分科会

分科会講師は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

#### International Business 国際ビジネス

### A. Advising Foreign Exporters about the Japanese Market

講師：Ritter DIAZ リッテル・ディアス

一般社団法人日本・ラテンアメリカカリブ振興協会（JAPOLAC）代表理事／

元駐日パナマ大使

#### 分科会内容：

This group session will introduce basic information on how to advise foreign exporters to sell their goods in the Japanese market. It will also provide a basic template to present a potential product to the manager of an international trade division in a multinational company.

#### プロフィール：

Dr. Ritter Diaz served for almost 20 years at the Embassy of Panama in Japan as a Commercial Counsellor (1999-2014) and Ambassador (2014-2019). After exiting the diplomatic service in 2019, he became an international consultant between Japan and Latin America. He has also worked for the largest bank of Panama, Banco General as well as Panasonic Latin America. He received a BA in Political Science from the University of Wisconsin-Eau Claire, a Master Degree in International Political Economy from Tsukuba University and an Honorary Doctorate from Chiba University.



#### International Cooperation／Contribution 国際協力・国際貢献

### B. Innovation Management in Disaster Risk Reduction: Art of Problem Analysis for Future Leaders

講師：Takeshi KOMINO 小美野 剛

CWS Japan 事務局長

#### 分科会内容：

This course explores a process of innovation management in disaster risk reduction field, particularly problem analysis, and see critical skills required in problem identification, search, and solution ideation. After conceptual lecture, the participants will engage in practical work.

#### プロフィール：

Takeshi Komino is the General Secretary of CWS Japan. He also serves as Vice President and a member of Executive Committee for Asian Disaster Reduction and Response Network (ADRRN), joint secretariat of Japan CSO Coalition for DRR (JCC-DRR), and NGO unit steering group member at Japan Platform (JPF). He graduated from Doshisha University, and holds Development Studies M.A. from Brandeis University.



#### International Cooperation／Contribution 国際協力・国際貢献

### C. Exploring the Future of International Cooperation: Navigating Challenges and Seizing Opportunities

講師：Sugit ARJON, Ph.D. スギット・アルジョン

宇都宮大学国際学部 助教

#### 分科会内容：

This session aims to deepen students' understanding of the future of international cooperation by addressing its challenges, opportunities, and the emerging trends shaping the landscape. Students will discuss the essential skills required to work in international cooperation and in the process, students will understand career opportunities in international career paths.

#### プロフィール：

Sugit Arjon is an Assistant Professor at the School of International Studies, Utsunomiya University. His focus is on political science and specialises in the political dynamics in the post-conflict region. His research mainly on democratisation, state violence, security, political dynasty, and civil-military relations in the Southeast Asia region and specifically in Indonesia. Before working in academia, he has professional experience in high-level policymaking with the Minister of Education and Culture of Indonesia and the Executive Office of the President of the Republic of Indonesia.



#### International Cooperation／Contribution 国際協力・国際貢献

### D. Introduction to the Work of International Organizations ー from the Lens of a Mid-Career Aid Worker ー

講師：Saki TOMITA 富田 早紀

開発援助専門家 元IOM, The Global Fund等勤務

#### 分科会内容：

How do you picture the work of international organizations and building a career as a staff member? This group will provide an introduction to the work of the UN and other international organizations through the lens of a staff member. It will offer an overview of the ecosystem of international aid and the different functions within these organizations, with a particular focus on migration and policy-making.

#### プロフィール：

Saki Tomita is an expert in international aid and migration policy with a 10-year experience in a think-tank and international organizations. After completing both her bachelor's and master's degrees in international relations, she started her career in a Japanese think-tank specializing in public policies. At 29, she began to develop her career in international organizations, including the International Organization for Migration (United Nations' Migration Agency) and The Global Fund to Fight AIDS, Tuberculosis and Malaria (an ex-WHO health fund). She has extensive experience in policy-making, strategies, and evaluation in the international aid context. She grew up living in Japan, Algeria, Thailand, Australia, and France, and has worked in Japan and Switzerland.



#### Cross-cultural Understanding／Communication 異文化理解コミュニケーション

### E. Fail Faster: Project-Building with Collaboration, Creativity, and Courage

講師：Gregory WOLF グレゴリー・ウルフ

Youth Theatre Japan

Theatre Company Representative（劇団代表）

#### 分科会内容：

Create original ideas for art, business, or activism/non-profit projects and then transform them into realistic plans in order to "be a part of the people that make meaning, not the thing that is made" (quoting Barbie).

#### プロフィール：

Gregory Wolf is a music and theatre teaching artist working in an international context. He is the public face of the 5,000-member group Youth Theatre Japan. As a creator, he led the development of 'wordplay', a commercially-profitable musical where children bring the alphabet to life and go on adventures learning about unity in diversity. As an educator, he has led or assisted with classes at institutions ranging from Japan Performing Arts High School to the Rikers Island Jail.



#### Cross-cultural Understanding／Communication 異文化理解コミュニケーション

### F. Making Mistakes in Language Learning: The First Step to an International Career

講師：Takayuki KIMURA, Ph.D. 木村 崇是

宇都宮大学国際学部 助教

#### 分科会内容：

This session aims to help participants overcome psychological barriers to communicating in a second language. Since the language (learning) backgrounds of the participants vary widely, I encourage them to engage in active discussions regarding their views on second language learning. By the end of this workshop, participants are expected to feel more confident and comfortable actively communicating in a second language.

#### プロフィール：

Takayuki Kimura is an Assistant Professor of Linguistics and Second Language Research at Utsunomiya University, where he conducts research on the acquisition of second languages, with a particular focus on the grammatical properties that pose challenges to learners. He has presented his findings at more than thirty international conferences to date and is currently engaged in research collaborations with faculty members from universities in the United Kingdom, China, and the United States.

